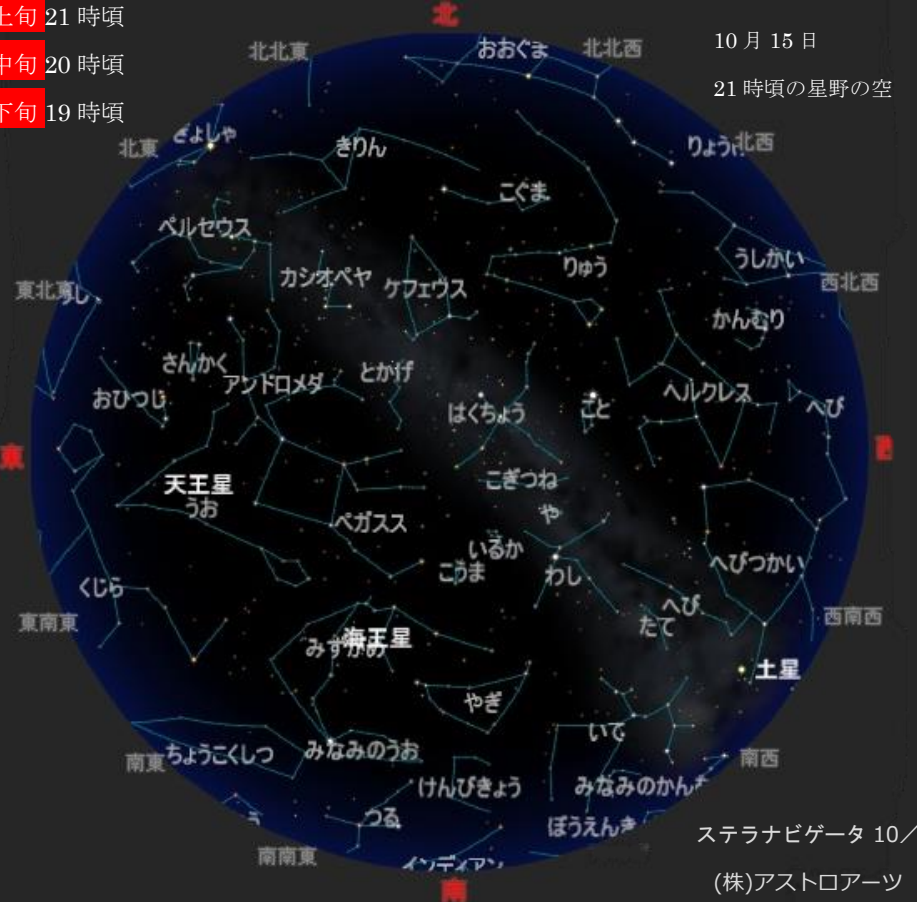


星空ガイド 10月号

福岡県八女市星野村 10828-1

☎: 0943-52-3000

- 10月上旬 21 時頃
- 10月中旬 20 時頃
- 10月下旬 19 時頃



10月15日
21時頃の星野の空

★★ 見頃の天体 ★★

M31 (アンドロメダ座)	肉眼で見える、最も遠い天体のひとつ。(230万光年)すぐ隣の銀河系。およそ1兆個の恒星から成る渦巻き銀河。
フォーマルハウト (みなみのうお座)	秋の唯一の一等星。「秋のひとつ星」「南のひとつ星」と言われることもある。およそ25光年離れたところにある。
ガーネットスター (ケフェウス座)	宝石のガーネットのような色をした星。赤色超巨星で、大きさは太陽の約1400倍あるといわれている。

中秋の名月の日(10月4日)は満月ではないって本当?

「中秋の名月」とは、太陰暦の8月15日の夜の月のことをいいます。中秋の名月は、農業の行事と結びつき、「芋名月」と呼ばれることもあります。「中秋の名月には美しい月が見られる。そして、その月は満月である。」と思われている方は少なくないと思います。

しかし今年、10月4日が中秋の名月、その翌々日の10月6日が満月と、中秋の名月と満月の日付が2日ずれています。実は、中秋の名月と満月の日付がずれることは、しばしば起こります。では、どうしてこのようなことが起こるのでしょうか。

旧暦の1日は「新月(朔)」の日からはじまるので、15日は新月の14日後となります。ところが、新月から14日後に必ず「満月(望)」になるわけではないのです。月の軌道や地球の軌道が楕円の関係で、新月から満月になるまでにかかる日数には2日ほどの幅が発生します。平均で約14.76日ということですから、満月は15日よりやや遅れる傾向があるわけですね。他にも旧暦の1日の決め方が幅をもっていること(「新月(朔)の瞬間が含まれる日」)も関係してきます。

あとはお天気次第でもありますが、ぜひ秋の澄んだ空に浮かぶ月を見上げてみてくださいね!

★★ 天文カレンダー ★★

4 (水)	中秋の名月	21 (土)	オリオン座流星群が極大
6 (金)	○ 満月	23 (月)	霜降 (太陽黄経 210°)
8 (日)	寒露 (太陽黄経 195°)	27 (金)	20時: 月面 X が見える
12 (木)	下弦	28 (土)	下弦
20 (金)	● 新月 / 天王星が衝/ 秋の土用(太陽黄経 207°)		

ステラナビゲータ 10/
(株)アストロアーツ